

議 だ よ り

第45号

発行 安曇野市議会
平成29年2月1日



安曇野市



初日に映える御柱（三郷北小倉・上区）

安曇野市議会の議員定数 現 25から 3減して 22へ …… 2

～ 12月定例会で決まりました～

常任委員会審査報告 …… 7

市政のここが聴きたい!! 12月定例会 会派代表質問 …… 10

一般質問 …… 14

委員会視察報告 …… 22

人口と世帯 平成29年（2017年）1月1日現在 ※（ ）内は対前月比

人口 98,099人（-64）／男 47,550人（-4）／女 50,549人（-60）／世帯 38,859世帯（-8）

今秋の選挙から
適用へ

安曇野市議会の議員定数 ～ 12 月定例会で

現25から3減して22へ 決まりました ～

平成 28 年 12 月定例会が 11 月 24 日から 12 月 19 日までの 26 日間開催され、議案 25 件と請願 1 件、陳情 9 件が審議されました。その中から、本会議での質疑、討論などを紹介します。

安曇野市議会議員定数条例の一部を改正する条例は、議員定数「25 人」を「22 人」に改めるもので、次の一般選挙から適用されることになりました。

安曇野市議会の議員定数を 22 人に減らしました 議員提出第 8 号 安曇野市議会議員定数条例の一部を改正する条例

条例
改正

提案理由

- ・経費節減の観点で、議員 1 人当たりの経費は約 640 万円、3 人分で 1,920 万円の削減になる。
- ・身近な類似都市と議員 1 人当たりの市民の数の比較から、定数減の悪影響はないと考える。
- ・現在委員会の構成は 8 人、委員長を除けば 7 人となり、4 対 3 でいつも委員長は自身の意思表示ができないことを考慮すると 7 人が適当。7 人×3 委員会で 21 人、議長を加えて定数 22 人へ。
- ・人口は減少の一途をたどり、高齢化率は上昇するので、議会も身を削る必要がある。
- ・定例の議会報告会のほかに市民の意見を聞く会を開催し、議員定数について、市民の皆さんから、「現在の 25 人でいいと思う」、「足りない」、「多過ぎるというなら、その根拠を示せ」、「21 人ぐらいに減らしたらどうか」、「判断する根拠がない」等々さまざまな意見があった。

可 決

定数減について 議会での討論

議員報酬を増やせば若い人が立候補しやすくなり、3 人減らした分を 22 人に上乗せして報酬アップするという議論があったが、こじつけではない。本当に若い人が立候補しやすくと考えたなら、改選まで 1 年を切ったこの時期での定数減はありえない。

議員報酬を増やせば若い人が立候補しやすくなり、3 人減らした分を 22 人に上乗せして報酬アップするという議論があったが、こじつけではない。本当に若い人が立候補しやすくと考えたなら、改選まで 1 年を切ったこの時期での定数減はありえない。

3 年前の 28 人から 25 人への定数減について十分な検証も議論もなく、議会として合意形成に至らぬうちに、強引に定数減の議員提案をするのは、市民に対する説明責任が果たせない。

3 減に反対の意見



定数減を起立多数で可決

議員みずからが議員定数を削減し、行政側に対して行政改革の範を示し、将来の安曇野市の安定に導くべき。開かれた議会をめざし議会基本条例を制定し、それに基づいて議会報告会をするなど粛々と議会運営を進めてきた。反対の意見もあるが、かなり議論を深めてきたと認識している。

3 減に賛成の意見

条例
廃止

安曇野しゃくなげの湯の開業に伴い 穂高老人保健センター 本年 9 月末で廃止へ 議案第 104 号 安曇野市穂高老人保健センター条例を廃止する条例

可 決

穂高老人保健センター条例 廃止についての討論

廃止に反対の意見

平成 27 年 3 月定例会で穂高老人保健センターの存続を求める陳情書が不採択になった際、議員提出議案の要望書が可決されたが、1 万人を超える存続署名に報いるような対応がなされていない。安曇野しゃくなげの湯に機能移転したというが、利用者にとってどうかという検証は不十分。穂高町の時代にやっと中房の湯が有明に引湯され利用されてきた歴史から、拡大改修こそすれ廃止という方向はあ

廃止に賛成の意見

この施設は開業から 40 年以上を経過し老朽化が進み、施設存続には多額の費用がかかる見込みである。衛生的かつ安全に施設を運営するには平成 29 年 9 月が限度と思われる。将来の人口減少に備えた行政の経営方針の一つである、公共施設再配置計画に沿っての対応もある。安曇野しゃくなげの湯に機能移転した後は、安曇野で利用できる施設として既存の老人福祉センターを活用すればよい。



開業当時の穂高老人保健センター



現在の穂高老人保健センター

条例
廃止

平成 29 年 4 月 1 日から 寄附募集の届出が不要になります 議案第 103 号 安曇野市金銭物品等の寄附募集に関する条例を 廃止する条例

可 決

これまで、安曇野市内で不特定多数の人に金品を無償で提供するように勧誘または依頼する寄附募集を行う場合、事前に市への届出が必要でしたが、この条例の廃止に伴い、平成 29 年 4 月 1 日以降に新たに行う寄附募集の届出が不要になります。

寄附募集に当たっては、引き続き健全な募集行為、募資金品の適正処理に協力をお願いします。



議案第 109 号 平成 28 年度
安曇野市一般会計補正予算
(第 3 号)

緊急性を要する事業等の補正

一般会計補正予算(第 3 号)では歳入歳出それぞれ 4,500 万円を減額し、総額 431 億 6,500 万円となりました。

歳出の主なもの

- ・ふるさと寄附事業のお礼品や手数料の増額
- ・電算管理費の社会保障関係システム更新事業確定による減額
- ・防犯対策費の防犯灯 LED 化工事の事業確定による減額
- ・障がい者支援事業の自立支援給付費や訓練等給付費の利用者増に伴う増加
- ・直売加工施設運営事業のあかしな夢いちば改修工事終了による減額
- ・安曇野しゃくなげの湯整備事業の竣工による減額
- ・小・中学校の新入学児童・生徒に対する就学援助費を入学前に支給するための増額



あかしな農産物加工交流ひろば Ebeya (えべや)

反対の意見

- ・ふるさと寄附の基金、国際交流事業、電算機関係システム改修等での予算の裏にあるマイナンバー制度、穂高老人保健センターの問題で反対する。

賛成の意見

- ・入学準備金の原資はふるさと寄附の基金なので、反対する理由に全くなっていない。全てに反対であれば、ぜひとも修正案を出してもらいたい。
- ・補正予算の中で適切でないものがあるということで反対討論をすることは全く問題がない。今回の補正予算第 3 号については、特段問題はないと思うので賛成する。

平成 28 年度安曇野市特別会計・企業会計補正予算

(単位：千円)

特別会計	補正額	補正後額
介護保険(補正第 3 号)	3,210	8,924,989
水道事業(補正第 1 号)	収益的支出 9,107	2,088,029
	資本的支出 137,330	1,481,089



議案第 124 号 平成 28 年度
安曇野市一般会計補正予算
(第 4 号)

旧三郷南部保育園用地購入のための増額補正

一般会計補正予算(第 4 号)では、旧三郷南部保育園用地購入のための諸費用として追加補正されました。補正のための財源は財政調整基金からの繰入金 4,300 万円です。

補正後の予算額は平成 28 年度一般会計補正予算(第 3 号)へ 4,300 万円増額し、432 億 800 万円となりました。

議案第 125 号
人事案件

・人権擁護委員の推薦につき、中島こず江さんを適任とした。

陳情
審議

新総合体育館に関する陳情を
審議しました

12 月定例会には新総合体育館に関する陳情が 5 件提出され、それぞれ審議しました。

陳情第 14 号 新総合体育館の施設規模等の見直しについて

採択

<趣旨(抜粋)>

- ・施設の機能・規模や維持管理など、子ども達の将来に大きな負担とならない体育館とはどうあるべきか、しっかりと精査してほしい。
- ・現計画 8,450㎡の延床面積、建設費用 38 億円の圧縮見直しをしてほしい。

質疑

問 陳情者より、合併特例債の活用は国の借金であり市の借金も同じであるとし、使用することは好ましくないとの意見が出されたが、この合併特例債を利用しなければ市民にとって大きな不利益になる。委員会としてどのような検討をされたのか。

答 委員会として意見は聞いたが、あくまでも陳情書に基づいて検討をした。

問 財源の問題等について、どのような意見が出たか。

答 財政に対しては、心配だという意見と心配ないと言う両面の意見があった。



- 陳情第 12 号 新総合体育館の早期整備を求める陳情書について
- 陳情第 13 号 新総合体育館の早期建設を求める陳情について
- 陳情第 15 号 新総合体育館の早期整備を求める陳情書について
- 陳情第 16 号 新総合体育館の早期整備を求める陳情書について

採択

<趣旨(抜粋)>

- ・市のスポーツ振興計画および施設整備計画に基づき、最も有利な合併特例債を活用して、人口 10 万人に適した新総合体育館の早期建設を求める。
- ・規模・機能・安全面などについて市民等の意見も十分受け入れて、各種競技団体の活用は勿論、一般市民の健康・体力づくり等に活用できる施設を求める。
- ・全国大会ができる規模で、一流選手の競技を身近で観戦したり、交流したりすることで、スポーツ競技者の底辺拡大を図る拠点を求める。
- ・大規模災害時の防災・避難施設としての機能を備えた施設および、余裕のあるスペースの駐車場を求める。
- ・多目的複合施設として全市民が活用でき、県内外から魅力的で参考となる施設になるよう整備を求める。



陳情の取り下げがありました

許可することに決定

陳情第 11 号 「安曇野市穂高有明地区(古厩区鈴ヶ丘)市道 1-14 号(通称有明山通り)周辺に居住する小学校児童を主体とした通学路に関する改善及び道路新設について」

9 ページへ

議長から取り下げについての説明がありました

陳情内容は個人からの要望が強く反映されたものであり、区長名でこうした陳情書を提出することは、市内各区からの要望提出における市のルール違反になり、今後各区から同様の陳情書が提出される可能性を生じかねない。区としては今後、有明山通りの改善について、市のルールに基づき要望を進めていきたいとの申し出があった。

異議がありました

道路整備に関する要望は区長から市に上げていくというルールがあるが、それとは別に陳情や憲法で定められた請願権がある。議会としての陳情の扱い、行政側の道路建設等の区からの要望について、きちんと整合性を持って対応する必要があると思う。

総務 環境

総務環境委員会では付託された7件の議案と1件の陳情を12月11日に審査しました。その中から主な議案等について紹介します。

議案名や本会議での議決結果等 **6** ページ

議案第109号

ふるさと寄附 順調に目標に近づく

ふるさと寄附は順調に目標額に近づいており、寄附額の増加に伴い不足が見込まれるお礼の品およびクレジット決済手数料、ふるなびシステム使用料を増額補正した。

賛成多数で可決すべきものと決定



お礼品（堀金物産センターオリジナルセット）

問 ふるさと寄附金の現在の状況と本年度の見込み額、またお礼品の割合とお返しの品について伺う。

答 11月30日現在のふるさと寄附金は5億9,968万6,000円で、順調に平成27年度の寄附金7億4,800万円に近づいている。お礼品の割合は約40～45%で、本年度は昨年度の品に加えて14種類程度を追加する予定。

陳情第1号

3回目の継続審査となり「審査未了」

「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書提出を求める陳情を審査した。

全員賛成で継続審査すべきものと決定

審査を継続したいとする意見

緊急事態基本法は、大きな災害、原子力発電所の事故、外国からの侵略およびテロ等に対して、適切に対処するためのものと思う。現在この法律の国の審議は進展しておらず、議論も尽くされていない状況であるため、国の審議を注視するとし、継続審査としたい。

防災ラジオの導入が示される



平成29年4月から緊急割込み付き防災ラジオの導入事業を開始予定。この事業は8月を目標に進められており、スケジュールと補助率等について説明があった。

【スケジュール】 4月1日からラジオ購入の申し込みと補助金交付業務の受付を開始。

7月に試験放送、8月1日運用開始を目標。

【価格】 8,000円から18,000円程度

【補助率】 一般世帯：購入経費の3分の1で上限5,000円（100円未満切り捨て）
避難行動要支援者名簿登録者および同登録要件に該当する世帯：購入経費の3分の2で上限10,000円（100円未満切り捨て）

※詳細は危機管理課にお問い合わせください。

報告事項

報告番号	件名	結果
28号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について（市有林における倒木事故に関する事）	受理

総務・財政

議案番号	件名	結果
103号	安曇野市金銭物品等の寄附募集に関する条例を廃止する条例	2 ページへ
105号	安曇野市組織条例の一部を改正する条例	
106号	安曇野市税条例等の一部を改正する条例	
109号	平成28年度安曇野市一般会計補正予算（第3号）	5 ページ・7 ページへ
121号	安曇野市特別職の職員等の給与等に関する条例の一部を改正する条例	
122号	安曇野市一般職の職員の給与に関する条例及び安曇野市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決
123号	安曇野市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	
124号	平成28年度安曇野市一般会計補正予算（第4号）	5 ページへ

産業・経済・観光

議案番号	件名	結果
112号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市豊科南部地区産地形成促進施設）	可決

健康・福祉

議案番号	件名	結果
104号	安曇野市穂高老人保健センター条例を廃止する条例	2 ページ・8 ページへ
107号	安曇野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
110号	平成28年度安曇野市介護保険特別会計補正予算（第3号）	

教育

議案番号	件名	結果
113号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市豊科水辺公園マレットゴルフ場）	
114号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市豊科水辺マレットコース18）	
115号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市権現宮マレットゴルフ場）	
116号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市穂高立足マレットゴルフ場）	可決
117号	公の施設の指定管理者の指定について（安曇野市三郷黒沢マレットゴルフ場）	
118号	公の施設の指定管理者の指定について（御宝田水のふるさと公園）	
120号	安曇野市三郷交流学習センター建設工事建築工事請負契約について	

建設・水道

議案番号	件名	結果
108号	安曇野市上下水道事業経営審議会条例	
111号	平成28年度安曇野市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
119号	市道の認定について	

人事

議案番号	件名	結果
125号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	5 ページへ 適任

請願

請願番号	件名	結果
3号	給付型奨学金制度の創設等を求める意見書（決議）の採択を求める請願書	採択

陳情

陳情番号	件名	結果
1号	「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書提出を求める陳情	7 ページへ 審査未了
2号	子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める県への意見書の提出を求める陳情	
9号	安曇野市内義務教育課程児童・生徒の多様な教育機会の確保について	継続審査
10号	JR大糸線有明駅及び安曇追分駅駐輪場の屋根設置について	9 ページへ
12号	新総合体育館の早期整備を求める陳情書について	4 ページ・8 ページへ
13号	新総合体育館の早期建設を求める陳情書について	採択
14号	新総合体育館の施設規模等の見直しについて	
15号	新総合体育館の早期整備を求める陳情書について	
16号	新総合体育館の早期整備を求める陳情書について	

※陳情第11号「安曇野市穂高有明地区（古殿区鈴ヶ丘）市道1-14号（通称有明山通り）周辺に居住する小学校児童を主体とした通学路に関する改善及び道路新設について」は、陳情者の申し出により取り下げになりました。

議員提出議案

議案番号	件名	結果
7号	給付型奨学金制度の創設等を求める意見書	可決
8号	安曇野市議会議員定数条例の一部を改正する条例	3 ページへ

賛否が分かれた議案等

議案等番号	議員名	議案名																									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
議案第104号	安曇野市穂高老人保健センター条例を廃止する条例	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第106号	安曇野市税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第109号	平成28年度安曇野市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
請願第3号	給付型奨学金制度の創設等を求める意見書（決議）の採択を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
陳情第10号	JR大糸線有明駅及び安曇追分駅駐輪場の屋根設置について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
陳情第12号	新総合体育館の早期整備を求める陳情書について	○	○	○	棄	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
陳情第13号	新総合体育館の早期建設を求める陳情書について	○	○	○	棄	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
陳情第14号	新総合体育館の施設規模等の見直しについて	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
陳情第15号	新総合体育館の早期整備を求める陳情書について	○	○	○	棄	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
陳情第16号	新総合体育館の早期整備を求める陳情書について	○	○	○	棄	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議員提出第7号	給付型奨学金制度の創設等を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議員提出第8号	安曇野市議会議員定数条例の一部を改正する条例	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

○：賛成 ×：反対 棄：棄権 議：議長（可否同数以外採決に加わらない）

経済建設

経済建設委員会では付託された5件の議案と2件の陳情を12月13日に審査しました。その中から主な議案等について紹介します。

議案名や本会議での議決結果等 

陳情第10号

JR駅駐輪場の屋根設置実現に向けて

JR大糸線有明駅および安曇追分駅駐輪場の屋根設置についての陳情を審査した。

賛成多数で採択すべきものと決定

反対の意見

- ・自転車などが雨にぬれた時、雪が積った時に冷たい思いをさせたくない気持ちはあるが、有明駅、安曇追分駅だけでなく、安曇野市の子ども達全員のためにということが入っていればやるべきだが、それがないので反対する。

賛成の意見

- ・有明駅、安曇追分駅の駐輪場の屋根設置を先行事例、モデル事業として実現することがよいと考える。自転車に優しい「サイクリングのまち・安曇野」および市民生活向上の観点からも実現すべきと考え賛成する。



屋根のない有明駅駐輪場



屋根のある穂高駅駐輪場

陳情第11号

通学路に関する改善および道路新設を求める陳情

安曇野市穂高有明地区（古厩区鈴ヶ丘）市道1-14号（通称有明山通り）周辺に居住する小学校児童を主体とした通学路に関する改善および道路新設を求める陳情を審査した。 

全員賛成で継続審査すべきものと決定

審査を継続としたいとする意見だったが・・・

- ・「子ども達の安全を担保してあげたい、そういう気持ちは十分ある。しかし、安全について通学路だけで担保できるのか。もっと研究し、緊急性があるのかも含めて継続で審査したい。」という意見が出され話したところ、全員賛成で継続審査とすべきものと決定した。
- その後、陳情者から陳情の取り下げがあり、議会最終日の本会議で全議員に話したところ、賛成多数で取り下げが認められた。

福祉教育

福祉教育委員会では付託された11件の議案と1件の請願、7件の陳情を12月12日と19日に審査しました。その中から主な議案等について紹介します。

議案名や本会議での議決結果等 

議案第104号

安曇野市穂高老人保健センター条例を廃止する条例

安曇野しゃくなげの湯の開業に伴い、穂高老人保健センターは平成29年9月末で廃止へ。

賛成多数で可決すべきものと決定

反対の意見

- ・利用状況や利用者の声を調査し、安曇野しゃくなげの湯が福祉の湯としての機能を持った段階で条例を廃止すべき。安曇野しゃくなげの湯では利用料金が3倍になり、新たな利用券が発行されても枚数に限りがあるため、これまでのように気軽に利用できるか心配する声もあり、廃止には反対する。

賛成の意見

- ・穂高老人保健センターの機能を安曇野しゃくなげの湯へ移した後に廃止することは、市の政策的な方向として既定のもの。施設の老朽化から利用者の安全を担保するには修理費も相当かかり、毎年2,000万円以上の経費がかかることを考えれば廃止はやむを得ないので、廃止に賛成する。

陳情第12号、第13号、第15号、第16号の4件一括審査
新総合体育館の早期整備・建設を求める陳情について

安曇野市体育協会をはじめ、各種スポーツ団体からの陳情。

賛成多数で採択すべきものと決定

反対の意見

- ・これらの陳情は単に早期建設を求めるというより、市が進める整備計画以上のものを望んでいると読み取れる。そうすると財政負担は増し、子ども達の夢を育むという思いに反する財政状況になってしまうので、今後の公共施設再配置計画や将来の人口減を勘案し、時間はかかっても自主財源で考えていくべき。大きな体育館を作って、地域にあるものを統合・廃止するようなことは望ましくないため、反対する。

賛成の意見

- ・陳情事項にあげられた競技者の安全性の確保や、市民の健康・体力づくりに貢献してほしいなどということは、今ある体育館はもとよりこれから作ろうとする体育館も、基準とすべきであると考え、賛成する。

陳情第14号

新総合体育館の施設規模等の見直しについて

新総合体育館の規模や整備費の見直しを求める市民グループからの陳情。

賛成多数で採択すべきものと決定

- ・反対討論・賛成討論は行われなかったが、安曇野の将来の財政面において、大丈夫とする意見と、心配する意見があった。



市政のことが聴きたい!!

○会派代表質問(10~13ページ)
○一般質問(14~22ページ)



信誠会 宮下 明博



総合体育館建設に国の補助金の有効活用を

問 基本計画で発表された財源は合併特例債とスポーツ振興くじ助成金だが、それ以外の補助金を研究されたか。

答 各分野で検討したが他の補助金は難しいと判断した。

問 信誠会は常に前向きに進歩的、発展的な考えで行動しており、務台俊介代議士と地方創生推進事務局長に、何か有利な交付金がないか陳情、勉強会に伺った。そこで都市公園の計画変更によって事業費38億円の約半分が補助金で賄うことができ、最大で約5億円前後、市の負担が少なくなることが分かった。実質6億円前後で建設できる可能性がある。一流選手による公式戦ができ、子ども達の夢が育まれるような体育館施設建設のため、社会資本整備総合交付金が適用できるように国に相談を望んでいく必要がある。

問 ではないか。

答 信誠会から助言があった交付金は大変有益であり、財政的にも助かる。防災公園的な視点から再度検討し、今後国と県と調整しながら進めたい。

問 ほりでーゆー四季の郷、フラインビュースの山の間譲渡について

答 2件の宿泊施設は平成29年度中に民間譲渡することとなっているが、それぞれの会社とどのような交渉をしてきたか。

問 一般の民間に譲渡するには補助金の返還が必要になり、結論を出すには一定の時間を要する。

問 現指定管理者のなかに引受企業がなければ、例えば星野リゾート、西武東急等と接触してみる必要があると思うがどうか。

答 民間に接触する事態になった時には、議会とも相談し慎重に進める。

問 先送りすれば一般会計か



政和会 平林 徳子



豊かな人を育むまちづくり

問 ①産後の相談窓口設置を。②産後ケア事業の進捗状況は。

答 ①窓口設置は新年度の早い時期に本庁舎1階健康推進課へ予定。②産後ケア事業は受け皿となる医療機関と調整が第一となる。母乳・育児相談を5か所の保健センターで月1~2回実施。受診が必要な場合は医療機関等を紹介し、早期対応。

問 学校教育について、「NPO法人ママの働き方応援隊」の赤ちゃん先生の活動について何う。

答 自尊感情を高め命の尊厳、人権や家庭に係る学習ができる。昨年度校長会の組織で実践校を紹介した。国での放課後子ども総合プランでは、児童クラブは全ての児童を学校施設でとらえているが、取り組みは、待機児童の解消と併せ、小学校の余裕教室等の利用を学校と協議してい

問 一般廃棄物最終処分場の方向性は。

答 自区内処理が責務であるが過去に選定した候補地は凍結状態である。県営の建設を県議会等へ陳情

問 ネット教育についての指導は。技術科で利用の指導、道の時間に人権教育を含めトラブルを起こさない、被害にあわない指導を実施。保護者や職員も外部講師を招き研修を受講。

問 英語教育の取り組みは。

答 教職員の資質向上のため外国語活動指導研修を実施し、レベルアップを図る。小中一貫教育の考え方は。小中一貫教育の考え方は。小規模校もある。教育の在り方、活力ある学校教育等、委員会を組織し、小中の連携、一貫教育を含め検討する。

問 一般廃棄物最終処分場の方向性は。

答 自区内処理が責務であるが過去に選定した候補地は凍結状態である。県営の建設を県議会等へ陳情



4年生の外国語活動

問 会派で岩国市を視察した。焼却灰のセメント原料化を実施し、少量の異物のみが埋め立てられる。原料化している(株)山口エコーテックではまだ受け入れ可能と聞くが考えは。

答 埋め立てに頼らない処分が可能となり意義がある。調査、検討したい。

穂高老人保健センターの廃止は福祉の後退!



民心・無所属の会 萩原 勝昭



問 穂高老人保健センターを平成29年9月末で廃止するとしている。中房の湯に里で入れるようにすることは百年来の悲願を実現したものである。議会の要望書の決議等も無視し、高齢者人口が増え、中房の湯の後退ではないか。



穂高老人保健センター

答 利用者数も年々減少傾向にあり、入浴棟も40年以上経過し、老朽化が進み、

維持費に多額の費用がかかることが想定される。また、穂高地域外の利用者が増えること、安曇野市やくまがねの湯に機能を移転させたことにより、福祉の後退とはならないと考える。

問 老朽化して維持修理費に2000万円位かかると予想されているが、利用者は年間6万人以上あり、この地の賑わいを創出している。高齢者人口

が増える中で福祉事業としての取り組みが必要ではないか。

答 安曇野市やくまがねの湯の利用者が大勢との報告を受けている。新年度に向けて多くの皆さんが天然温泉を活用できる仕組みづくりを検討している。

問 公共サービスの民営化は慎重に

答 保育園や図書館の民営化の方針が進められ、保育園については、未満児保育の一部については来年度から始まる。3歳から5歳児のクラス担任の保育士については、55人が非正規雇用という問題がある。民営化でサービスの

【その他の質問事項】

○松本市の中核都市の指定と安曇野市のまちづくりについて

「議会運営」や「議員定数・報酬」などの答申

議長は平成28年2月9日に「議会運営委員会」と「議会改革推進委員会」に「議会運営」や「議員定数・報酬」などについて諮問し、両委員会から答申が出されました。

＜議会運営委員会答申＞

1 予算・決算の委員会方式について（平成28年8月29日）

- ① 予算、決算の審査は、常任委員会で行う。
② 一括審査とし、全体会方式と分科会方式をとる。
③ 決算審査は定例会の会期中に認定する。
④ 平成29年3月定例会から行う。

2 安曇野市議会委員会条例の一部改正について

- ① 予算・決算を行う常任委員会を設置する。
② 定数は25名とし、予算は議長を、決算は議長、議会選出の監査委員を除く。
③ 議員は複数の委員となることのできる規定に改正する。

1 定例会の運営に関する事項について（平成28年9月23日）

「会期の見直しについて」及び「本会議における議案質疑のあり方について」は、予算及び決算の審査体制とリンクして検討する。

2 常任委員会の運営に関する事項について

「理事者の常任委員会出席について」は、安曇野市議会基本条例第9条及び安曇野市議会委員会条例第21条の規定により対応する。

＜議会改革推進委員会答申＞（平成28年11月18日）

1 議員定数、議員報酬、政務活動費に関する事項について

① 議員定数については、増減に対して意見が二分し結論に至りませんでした。意見として、「定数は削減すべき」という意見と「定数を増減するには、28人から25人とした後の検証が必要なので、結論を急がず時間をかけるべき」との意見があり、検証する手法等については協議に至りませんでした。

② 議員報酬については、議員定数との関係が議論となり意見が二分し結論に至りませんでした。

市民の意見を聴く会での「議会費の総予算を増やすことなく、若い人が立候補しやすくするためにも、定数減の分は報酬を増やしてもいい」との意見を受け、「定数とリンクして考えるべき」との意見と、「定数とは別としてとらえるべき」との意見がありました。

③ 政務活動費については、現在の年間9万円では、満足な活動ができていないため、政務活動費は上げるべきとの結論に至りました。

金額的な話では、全国10万都市を平均してみると月2～3万円が妥当な金額ではないかとの意見は出ましたが、具体的に結論は出ませんでした。また、市長を通じ市特別職等報酬審議会へ、議会からの意見として「上げるからには、透明性をさらに高めるための意見を付けるべき」との意見がありました。

2 重要案件の議決に関する事項について

安曇野市議会基本条例の一部を改正することで一致しました。

3 正副議長の選挙に関する事項について

正副議長の選挙に立候補し所信表明することは、議会の透明性からも必要とする意見が大半であったが、今回は、特に条例や会議規則等を見直すことはなく、議員のモラルによることとなりました。



世界かんがい施設遺産の里 平和で暮らせる安曇野の文化が発信される郷に！



上げられ、堰の清掃活動も行われるなど、学習の場でも活用されている。多様な学びの機会を創出している現在の仕組みを大切にしていきたい。認定を受け、中央図書館に拾ヶ堰関連書籍コーナーを予定。知恵を絞り全庁挙げて取り組みたい。



新築されたアルプス保育園

検討していきたい。
【その他の質問事項】
○ 電力自由化による、公共施設の電力切り替えについて
○ 部活動と社会体育および朝練の現況について

ビジョンなき安曇野市政 財政これでいいのか



日本共産党安曇野市議団 松澤好哲

問 ① 日常の行政を行いながら、借金871億円の返済ができるのか。② 自主財源の確保は。③ 企業が地下水を汲み上げ放題で、その穴埋めの水張り田に市民の税金を投入している。地下水を利用する大型企業から財源確保すべきでは。④ 農業農村振興条例の廃止をせずに、農業振興政策の継続発展を。
答 ① 平成27年度決算で市債残高は871億円であり、上下水道分は450億円、一般財源の市債は421億円。健全な財政運営で将来負担を抑え、平準化をはかる。② 自主財源確保は、まち・ひと・しごと創生総合戦略で、新たな雇用と固定資産税収入に期待する。③ 地下水の汲み上げ業者の費用負担を検討し、平成33年度を目途に実施予定。安曇野の水のシンボルマークを作成し、売り上げからの協

力も検討する。④ 新たな産業振興条例の策定で、農業農村振興条例は廃止の方向で検討する。
民営化について
問 ほりてーゆー四季の郷やファインビュー室山は売り渡す方向で、保育園は民営化し、介護も民に投げ出すなど、次々に安上がりな行政・スリム化の行政を目指しているが、自治体でやるべき事業を投げ出しているのでは。
答 2施設は譲渡予定だが、譲渡先の制限等があるため継続して検討。公立保育園の一部を民営化については、平成29年度に中期ビジョンを策定する。
施設遺産登録
問 登録を機会に、安曇野の将来発展をどう考えるか。
答 関係者の皆さんと連携し、後世に残るような取り組みを検討する。小学校教科書や副読本で取り

「子育てするなら安曇野市」をめざす施策を



公明党 小松芳樹

問 平成29年度に市のすべての公立保育園が「認定こども園」となり同時に、県が進めている信州型自然保育の認定が決定された。これは、全国的にも稀で先進的な取り組みであり、広く宣伝することでも多くの移住希望者の取り掛かりになると思われるが、広報活動等しているのか。
答 市の豊かな自然環境を生かした保育を実践してきた成果であり、このことは、銀座NAGANOを活用したり、県の信州やまほいくポータルサイトに掲載し、情報発信していきたい。
問 認定こども園の準備状況は人員やハード面も含め進んでいるか。
答 看板等についてはできる限り経費を削減する考えで、当面はプレートの設置等に対応したい。また、職員体制については91・

5%の職員が保育士資格と幼稚園教員免許の両方取得しているの、十分に対応できる。
問 就学前教育は充実し、安全性も担保されることで、保育の質は向上すると考えていいか。
答 一朝一夕に保育の質を高めることは難しい課題だが、何よりもそこに働く職員の質を高めることが重要と考える。認定こども園化によって、そこに幼稚園としての側面も加わるので、今後とも園内外の研修も充実させ人的交流もとっていきたい。
問 教育現場のICT化について平成29年度に予算化するのか。
答 未来を担う市の子どもを育成し、特色ある学校教育の充実に向け、今後教育委員会と予算査定段階となる。財政部とも相談し、ICT教育推進整備に係る協議を前向きに

生活習慣病予防対策を



信誠会
山田 幸与

平成29年度予算編成に向けて



急速に高齢化が進む中、疾病構造は変化し、生活習慣病は健康長寿や医療費に大きな影響を与えている。今後の課題と考える。

超高齢化社会で大半の人が慢性疾患を抱えて暮らす社会になるといわれる。予防可能な疾患の重症化を防ぎ、医療費や介護費の適正化を図り、健康寿命の延伸をしていく。課題は、脳血管疾患を発症する人が多く、脳梗塞の治療者は国保で1007人、全国平均の1.3倍。脳血管疾患は要介護状態に移行する人もあり、介護保険の新規認定者の約2割を占める。昨年度国保の医療費総額約88億円のうち、生活習慣病は約34億円と4割近くを占める。20歳以上の5人に1人が糖尿病の可能性があり、透析には1人当たり年間で約500万円の医療費が必要で、国保は年間5億円を超える。各種健診の受診率の向上に向け取り組みを進める。

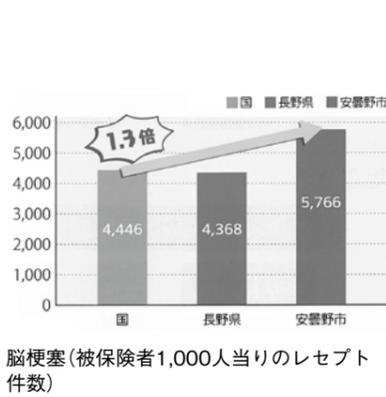
生活習慣病が重症化する前段階で医療・予防対策を医師会等関係機関と講じることが。関も医療費の適正化に向け医療機関と連携し、糖尿病性腎症の重症化予防の取り組みを推進している。重症化前に健診を受け、必要な場合は医療機関の受診を指導する。

平成29年度は、どのような対策で臨んでいくか伺う。

平成27年度は40歳以上の特定健診の結果から、1800人に保健指導を行った。今後もきめ細かな相談、保健指導を積極的に行う。

【その他の質問事項】
○市内の偉人の功績を後世に顕彰しよう

生活習慣病が重症化する前段階で医療・予防対策を医師会等関係機関と講じることが。関も医療費の適正化に向け医療機関と連携し、糖尿病性腎症の重症化予防の取り組みを推進している。重症化前に健診を受け、必要な場合は医療機関の受診を指導する。



脳梗塞(被保険者1,000人当りのレセプト件数)

平成27年度末の一般会計の基金残高が平成34年度には半減と見込まれる。経済情勢から財源の減少部分を埋めることは非常に困難である。このため持続可能な健全財政の堅持を図り歳出の削減、経費の見直し等実効性のある形で進める。

平成29年度予算の上程に併せ、実施計画の影響がどのような経過をたどるのか。そのためにも中期財政計画を示すよう提案するが。

行政の透明性を図りながら説明責任を果たしていくという意味において欠かせない課題であるので、

平成29年度予算の上程に併せ、実施計画の影響がどのような経過をたどるのか。そのためにも中期財政計画を示すよう提案するが。

行政の透明性を図りながら説明責任を果たしていくという意味において欠かせない課題であるので、

平成29年度予算の上程に併せ、実施計画の影響がどのような経過をたどるのか。そのためにも中期財政計画を示すよう提案するが。

行政の透明性を図りながら説明責任を果たしていくという意味において欠かせない課題であるので、



内水が集中する小万水川(こよろずいがわ)の末端

多額な費用と、大規模な工事が予想されるが、概ね2年くらいを目途に、検討していきたい。

ただ、「やります。やります。」ばかりでなく、平成28年度か29年度中ぐらいには対策の決定年度を見出せないか。

平成29年度予算の上程に併せ、実施計画の影響がどのような経過をたどるのか。そのためにも中期財政計画を示すよう提案するが。

行政の透明性を図りながら説明責任を果たしていくという意味において欠かせない課題であるので、

平成29年度予算の上程に併せ、実施計画の影響がどのような経過をたどるのか。そのためにも中期財政計画を示すよう提案するが。

行政の透明性を図りながら説明責任を果たしていくという意味において欠かせない課題であるので、



公明党
中村 今朝子

交通事故のない安心・安全なまちづくり



残念ながら平成28年度も、高齢者が犠牲となる交通事故が続発し、交通死亡事故多発非常事態宣言が出された。市長の見解を伺う。

交通安全は一人一人の意識の高揚、高齢者、障がい者、子どもを家庭で、地域ぐるみでみんなが守ることが大切と思う。市としても警察署、安協、各区と連携して安全で安心な地域づくりを目指す。

高齢運転者が免許証を自主返納すると「あづみん」の乗車回数券を交付しているが、支援内容を厚くできないか。また、「あづみん」の利便性の検討はどうか。

何らかの対策は講じていかなくてはならないと思っている。利用料金の減額改訂等は、一般会計の支出が年々増加している現状では、非常に厳しい状況である。

山麓線・富田橋の歩道整備は

「安曇野しゃくなげの湯」もオープンして、山麓線・富田橋の歩道整備は住民・観光客の安全対策の

山麓線・富田橋の歩道整備は

ためにも、一日も早く取り組んでほしいかがか。

山麓線は平成26年度から概略設計を実施し、調査検討をしている。富田橋は県で、平成28年度検討の概略設計をすると聞いている。

子育て世代包括支援センターは

妊娠・出産・子育てまで、切れ目の支援の相談窓口の開設予定は。平成29年度に健康推進課に開設。産後うつへの心配から、産後健診の助成を要望するかがか。

今後の動向を確認しながら、研究を進めていきたい。



市の総合計画、都市計画マスタープランや安曇野版総合戦略に田園産業都市をどのように位置づけ、これから制定する産業振興条例にどう反映させるのか伺う。

位置づけは活力あふれるまちづくりであり、新たな雇用を創出するため、異業種間の連携を視野に入れたあらゆる産業の活性化を産業振興条例に盛り込み、安定した安全なまちづくりの実現に取り組む。

産業の拠点づくりがこれからの市に必要と考える。インター周辺の開発の早期取り組みが必要では。

工場立地の問い合わせは多く、当地は企業の進出先として人気が高い。適地検討庁内会議を設置し検討しているが、農地法等の規則を考慮し、適切な対応をしていく。

地域高規格道路松本系魚川連絡道路への取り組みと早期着工に向けたの打開策を伺う。

地元説明会・意見交換会で大変厳しい意見をいただいている。具側へ早期解決の糸口を依頼していく。

自転車の安全利用および交通事故防止や放置自転車の防止推進のため、自転車条例が必要ではないか。

市では今まで道路交通法に従い取り組んできたが、近隣の自治体を参考に制定に向けて検討していく。

自転車交通網の整備と自転車交通の円滑化を問う。

道路整備推進計画の中で、自転車による回遊性の向上という視点で整備を位置づけている。安曇野やまびこ自転車道を活用し、安全・快適に回遊できる整備を進める。



整備が期待される安曇野やまびこ自転車道と拾ヶ堰



民心・無所属の会 増田 望三郎

整備費用38億円の体育館は必要か



問 新総合体育館の基本計画案が出された。施設面積は7300㎡、整備費用は38億円。当初の8400㎡から縮小されたが、費用はなぜ38億円のままで据え置かれたのか。

答 昇分に備えてはどうか。

問 38億円も体育館を、市民が本当に必要と思っているのか。

答 財政負担38億円を超えるならば、競技に支障のない部分の縮小も考えざるを得ない。

移住促進策の提案

問 オリンピックの特需など、総事業費、人件費、資材の高騰等を見込んだためである。

問 宿泊滞在中に移住相談に乗り、様々な情報を与え、移住希望者に密度の濃い関わりを施す「移住コシエルジュ宿」を募集しては。

問 全員が賛成、全員が反対と言ったとはあり得ない。市民が活用しやすい施設、安全面も考えて、きちんとした規格を持った施設にして、すばらしい選手を招聘し、子ども達に夢と感動を与えたい。

答 あえて特化することがいいのか、観光協会を含めて宿泊事業者の皆さんに投げかけをしていきたい。

【その他の質問事項】
○図書館の管理運営について



松本市・塩尻市・安曇野市の三市合同の移住セミナー(東京会場)



日本共産党 安曇野市議団 井出 勝正

駆け付け警護でいのちは守れない!



問 南スーダンに派遣された部隊に平成28年12月12日から、駆け付け警護という新しい任務が付与される。いのちを大事にする、平和・人権教育の立場からどう考えるか。

問 防災用品購入補助は。

答 駆け付け警護は政治的内容であり、教育内容に直接導入することは学習指導要領の内容から無理がある。小・中学校の発達段階に応じ、足元の人権を学び地球に生きるすべての人々への思いや、いのちへの意識を高める教育を進める。

答 平成29年度から防災用品の補助制度を使えるように考えている。

黒沢川治水と赤沢橋の架け替え

問 駆け付け警護は政治的内容であり、教育内容に直接導入することは学習指導要領の内容から無理がある。小・中学校の発達段階に応じ、足元の人権を学び地球に生きるすべての人々への思いや、いのちへの意識を高める教育を進める。

問 橋の架け替えは一朝一夕ではできない。県の治水計画に合わせて考えていったらどうか。

問 9月定例会の高校・大学入学準備貸付制度の創設に続き、小中学校の就学援助の3月支給への思いは。

答 黒沢川の調節池の計画に関連して架け替えや改修が可能か、今後も検討協議していく。

【その他の質問事項】
○増田建設産業の壁の問題と、太陽光発電、その条例化について
○台風被害農家に支援を



赤沢橋の改修を計画的に

問 市の防災会議への東京電力の参加を要請するべきではないか。

問 市の子ども子育て支援の一環であり将来の夢を紡ぐ道しるべとなる。

答 市もダムの下流に当たるので、防災会議への参加を要請していく。

想定外を想定した防災を



公明党 藤原 陽子

道路施設整備にマイレポの導入を



問 道路の破損等について、市民からの通報が年間515件あったが、パトロールだけでは限界があり、早期発見のため、マイレポシステムの導入を提案する。このシステムは道路の破損等を見つけた際、スマートフォン専用のアプリを使い、写真とコメントを付けて投稿することにより、GPSで自動的に場所が特定されるため、早期に要望が正確に伝わり、開庁時間外でも連絡が可能なものだが、導入について伺う。

健康マイレージ事業の導入を

問 市民の健康づくりや、地域貢献を促すために、ドックおよび検診の受診や、健康教室等への参加や、ボランティア活動等に、ポイントを加える健康マイレージ事業の導入について伺う。

問 健康へのきつかけづくりが重要と考える。ポイント制度の導入は有効であり、国が医療保険者に対する努力支援制度として、それぞれの健康づくりの取り組みに応じて、財源措置を行うことにより、国保は平成30年度に導入を目指す。

問 道路の破損等については、市民から通う子ども達を支援できないか。

答 安曇養護学校については単にお金をかけることだけでなく、要望を精査・検討して、できることから行っていくことが重要と考える。特別支援学校以外に通う子ども達については、現在のところ支援の予定はない。

問 市営の通学バス運行を要望する陳情を機会に開催された、保護者会と教育委員会との意見交換会の状況はどうであったか。

答 通学バスについてはバス配置の希望ではなく、スクールバス利用の子ども達の自力通学を促せるよう、地域デマンド交通を利用できないかとの要望があった。地域デマンド交通は、市内の運行に限られていることなど困難な状況を説明し、理解をいただいた。

また、多くの要望の中からできることから検討をするとし、地元の小・中学校に副次的な学籍を置く副学籍について検討をしている。

問 公平な税金の使い方として、平成27年度の決算では、市内17小・中学校の学校管理費と学校振興費、給食センター費を合わせると約10億3700万円となり、児童生徒一人当たり年13万2000円の経費がかかっている。

問 同様に、市内に在住して市外の小・中学校やフリースクールなど

同様に、市内に在住して市外の小・中学校やフリースクールなど

同様に、市内に在住して市外の小・中学校やフリースクールなど



同様に、市内に在住して市外の小・中学校やフリースクールなど

同様に、市内に在住して市外の小・中学校やフリースクールなど



スマートフォンで道路の課題の解決に

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録ができるまでには2か月ほどかかりますのでご了承ください。)



信誠会 竹内 秀太郎

「スポーツ都市宣言」の制定を提案



問 スポーツを通じて、健康でたくましい心と体をつくり、豊かで明るい都市を築くため、スポーツ都市宣言を行い、スポーツの持つ力を活用した健康寿命日本一を目指したまちづくりについて伺う。

答 スポーツは人々に夢や感動を与え、将来を担う子ども達の体力づくり、仲間づくり、そして精神力の強い子どもを育てる。健康寿命日本一を目指す取り組みの一環として、市民や関係者の意見を聴きながら協議、検討したい。

市財政の実態と市民の心配

問 財政実態の説明不足から市民の心配を招いている。そこで、平成19年度、平成27年度の決算数値と、平成28年度から34年度までの財政計画を参考に、市の実質返済額について左表のとおり試算した。平成27年度一般会計の表面上の市債残高は421億円だが、交付税措置後に市民の税金で返済する実質返済額は35億円である。表の数値に間違いがないか伺う。

答 現時点においては左表の数値のとおりである。

市債（借入金）残高と返済金の推移 単位：億円

	19年度(決算)	27年度(決算)	32年度(見込)	34年度(見込)
一般会計市債残高	365	421	480	434
実質返済額	101	35	(113)	(99)
公営企業借入金	602	450	318	261
使用者返済額	354	257	176	141
合計借入金残高	967	871	798	695
実質返済額	455	292	(289)	(240)

27年度一般会計市民1人当たり実質返済額：35,622円
27年度市民1人当たり表面上の合計借入金額：886,469円



信誠会 小松 洋一郎

拾ヶ堰世界かんがい施設遺産を観光拠点に



問 拾ヶ堰の世界かんがい施設遺産に伴う環境整備や国道147号線の先線である東西沿線に拾ヶ堰公園を造成し、堰記念館等を建設する観光拠点整備の提案について伺う。

答 市には、長い歴史を持つ堰が多いため、これらの環境保全も含め、検討を進める。東西幹線軸の道路整備は、経済、産業、観光への寄与が期待されるので、早期事業化を県に要望している。新たな公園整備は難しいものの、ウォーキングや自転車道の活用等を含め、ハード・ソフト面の検討を進める。

問 台風18号によるリンゴ等被害に対する補助金の考えを伺う。
答 果樹共済加入者には、農家の掛金の3分の1を補助している。加入農家率も62・8%と増加傾向にあり、加入促進を促していく。一方、被害補助等はJAあづみ等と連携・協議し検討していく。

台風18号による被害状況と補償関係について

問 たつみ保育園等の建設計画で実用



世界かんがい施設遺産に登録された「拾ヶ堰」



政和会 内川 集雄

東山魁夷と東山再起(再活)



問 長峰山山頂には東山魁夷の「安曇野を想う」の碑がある。光城山、長峰山一帯をどのように見ているか伺う。

答 里山として、市の観光面において重要な地域と捉えている。健康寿命日本一の安曇野をめざし、山道を活かした里山ウォークやこの地形と景観を活用した新たな取り組みを検討したい。

問 市における学有林活動の状況は。

答 市内中学校5校と小学校1校が学有林を保有している。毎年実施が1校、隔年実施が2校ある。木に触れ、木の大切さを学ぶ観点から学校と意見交換し、課題解決に取り組む。

問 現存する大正期の建物、旧上川手小学校矢ノ沢分教場の保存は。

答 文化的な要素を多分に秘めており、長峰山周辺里山再生保全に関わる団体が利用している。研究をしていく必要がある。



政和会 藤原 正三

子どもの貧困



問 子どもの貧困について、どのように認識しているか伺う。

答 子どもは財産であり、貧困は子ども達に大きな影響を及ぼすと考えている。貧困によって、教育の機会が閉ざされたり、衣食住が確保されない状況が生じないようにするため、子どもの貧困対策は非常に重要である。

問 貧困の連鎖は心の問題も原因の一つであり、それが払しょくできなければ、いくら施策を講じても解決に至らない。人の心の問題や社会情勢などを念頭に置きながら、施策を展開していくことが欠かせない。

地域おこし協力隊

問 地域おこし協力隊に期待するものは何か。

答 市では、移住・定住の推進活動を行う。地域との信頼関係が必要不可欠である。市の活性化のために活躍し、将来は定住することを期待する。

問 いい提案だと思う。松枯れ材の活用は非常に重要と考え、今後事業として展開できるかも含めて、社会就労センター、民間会社、再活の松プロジェクト等関係部署と調整し、検討を進める。



木製おもちゃ(玩具)で遊ぶ乳幼児

問 経済的貧困だけでなく、心の貧困はどうか。子どもの愛情や思いやりの心は、自然に芽生えるのではなく、大人から教わって身につくものと考えるが。



※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録ができるまでには2か月ほどかかりますのでご了承ください。)



無所属の会 林 孝彦

協働で地域と共にある 学校づくりの推進を



問 推進の目標と取り組みは。

答 平成29年4月から市コミュニティスクール支援事業を推進する。

問 学校支援地域本部設置と学校支援ボランティアの強化を提案するが。

答 学校支援地域本部事業を立ち上げ、研修会を位置づけている。

問 学校運営協議会や信州型学校運営協議会の設置を提案するが。

答 平成29年4月から市信州型コミュニティスクールとしてスタート。

問 平和や国際的な連携を実践するユネスコスクールへの加盟と実践を提案するが。

答 加盟による効果等を研究し、取り組みは提言を参考とする。

地域との産学官連携の促進を

問 促進を提案するが。

答 産学官の効果的な連携を図る。

問 信州大学や松本大学などの包括連携協定の締結を提案するが。

答 平成28年度、信州大学との包括連携への調整を行っている。松本大学との包括連携は、検討する。



連携協定実施の南安曇農業高校(農場)



政和会 松枝 功

松系道路ルート案に反対 する声への対応を



問 県は地域高規格道路松本系魚川連絡道路のBルート案に対し広く意見を聞き、推進の手がかりを得たいと関係地区で意見交換会を開催している。絶対反対の強い意見が噴出しているが市長の受け止めは。

答 白紙撤回などの厳しい意見、現地の反対看板も承知している。地域や地権者の了解がなければ事業は進まない。市もしっかり取り組む。

問 この道路がもたらす市や地元への具体的メリットが見えてこない。高速道路へのアクセスが良くなる程度ではなく、市が、県に強く働きかけ、地域の環境整備を進めるといった方向づけが必要では。

答 地域産業の振興や観光、防災面でのメリットは期待できる。地元でのメリットについては、行政が責任を持ち、反対の皆さんも含めた対話の中で考える必要がある。

問 反対の地区では、県の「素直に三川合流部を渡るAルートではなく、自分たちの生活を脅かすBルートを無理に押し付ける」ことへの

反対の地区では、県の「素直に三川合流部を渡るAルートではなく、自分たちの生活を脅かすBルートを無理に押し付ける」ことへの

反対の地区では、県の「素直に三川合流部を渡るAルートではなく、自分たちの生活を脅かすBルートを無理に押し付ける」ことへの

反対の地区では、県の「素直に三川合流部を渡るAルートではなく、自分たちの生活を脅かすBルートを無理に押し付ける」ことへの

反対の地区では、県の「素直に三川合流部を渡るAルートではなく、自分たちの生活を脅かすBルートを無理に押し付ける」ことへの

反対の地区では、県の「素直に三川合流部を渡るAルートではなく、自分たちの生活を脅かすBルートを無理に押し付ける」ことへの

反対の地区では、県の「素直に三川合流部を渡るAルートではなく、自分たちの生活を脅かすBルートを無理に押し付ける」ことへの

反対の地区では、県の「素直に三川合流部を渡るAルートではなく、自分たちの生活を脅かすBルートを無理に押し付ける」ことへの



ルート案で課題となる三川合流部



日本共産党 安曇野市議団 猪狩 久美子

児童館・放課後児童クラブの充実を



問 穂高西小学校の放課後児童クラブを、一時的に西穂高会館で行いたいという前回の答えだったが、会館は何か所か改善が必要だ。子ども達が安心、安全に過ごせる場としての整備をどう考えているか。

答 今回、穂高西小学校と協議をする中で了解が得られ、余裕教室などを利用して実施することにした。

問 市内に9つある児童館の施設内容には差があり、運営を困難にさせている状況がある。例えば、穂高西部児童館は調理室がなく、IHヒーターと小さな流しがあるだけだ。図書室もなく、プレイルームには倉庫に収まりきれない遊具が出しっぱなしの状態だ。三郷児童館を基準にして整備すべきでは。改修等を検討する。



穂高西部児童館のプレイルーム



信誠会 沼田 義人

利便性の高いまちづくりを



問 まち・ひと・しごと総合戦略の基本目標、具体的施策の中に、スポーツによる地域活性化が挙げられているが、穂高有明にこの条件にあった(株)ワシントン靴店有明工場跡地がある。ここに安曇野にふさわしい市営球場や市民ホールのような文化施設、市北部の防災広場などの研究や計画等について聞きたい。

答 穂高神社への参道として歴史のある道路であり、観光客など歩行者の安全と自動車の円滑な交通を確保するため、道路整備が重要だと位置づけており、社会資本整備総合交付金等の補助事業を活用するよう早期実現に向けて対応していきたい。

問 穂高駅前整備状況について聞きたい。

答 駅前広場全体の完成は平成29年7月の予定である。西友通りの歩道整備計画は、平成29年度と平成30年度の2か年をかけて整備する予定である。

問 市内各スポーツ施設の整備と充実について聞きたい。

答 有明運動広場に新規トイレを設置した。今後は新総合体育館整備と並行して、老朽化している施設の改修や耐震化の工事を計画する。

問 市道1級1・2号線(通称大門通り)の今後の道路改良とスケジュール等について聞きたい。



(株)ワシントン靴店有明工場跡地

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページまたは図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録ができるまでには2か月ほどかかりますのでご了承ください。)

福祉教育委員会 視察報告

- 平成 28 年 10 月 17 日 視察先 長野県飯田市
 目的 公立保育園の民営化について
 視察先 愛知県瀬戸市
 目的 小・中学校の適正規模・適正配置について
- 10 月 18 日 視察先 愛知県春日井市
 目的 妊産婦ケア事業「さんさんルーム」について
 視察先 岐阜県大垣市
 目的 土曜授業の取り組みについて
- 10 月 19 日 視察先 愛知県西尾市
 目的 総合体育館の運営について



飯田市役所にて視察

クローズアップ

公立保育園の民営化への取り組み

飯田市の特徴

- ・平成18年市議会において、民営化するにあたっての前提条件等を決めた。
- ・平成28年度の保育施設は公立保育所18園・私立保育所18園・認定こども園6園。
- ・年々児童数は減少しており、10年前と比較して82.8%に減少。
- ・児童数は減少しているが、入所児童数は10年前と比較して112.2%に増加。
- ・少子化により状況に応じて統合・廃園等の検討が必要になった。
- ・平成15年4月から民営化を進めている。
- ・4～5年おきに公立1減、私立1増を進めている。
- ・平成25年には公立4園を統合して2園とし、公立を2減した。
- ・平成29年4月から公立2園を統合して民営化の予定。
- ・行政改革の一環として始めた。全園を民営化していく予定。

まとめ

安曇野市においても公立保育園の民営化が課題となっている。保育に対するニーズも多種多様化しており、どこの保育園でも自由に選んで通園できる社会情勢になってきている。先進的に進められている飯田市の取り組みは大変参考になった。

経済建設委員会 視察報告

- 平成 28 年 10 月 31 日 視察先 長野県伊那市 (有)信州つつじヶ丘牧場
 目的 畜産悪臭対策について
 視察先 長野県飯田市 多摩川精機(株)
 目的 伊那テクノバレー発展に向けた取り組みについて
- 11 月 1 日 視察先 富山県入善町 農事組合法人せせらぎ営農組合
 目的 担い手の法人化事例について
 視察先 長野県高山村 前田牧場
 目的 畜産臭気対策、環境美化対策について



清掃が行き届いている前田牧場

クローズアップ

畜産悪臭対策に向けて

前田牧場の特徴

牧場の場所は集落の中、しかも工場や食事処が隣接していて驚いた。100頭以上の牛を飼育しているにもかかわらず、臭いがあまりせず、気にならなかった。きれいに清掃がされた牛舎で、牛はオガクズの上で横になっている。乳酸菌を水や餌に混ぜて与えている。過密状態にしないで開放的で風通しをよくしている。糞尿は堆肥化され、汚染水は浄化して下水道に流している。健康な牛を育て、美味しい牛乳を小・中学校の給食に提供して地産地消をすすめている。環境美化で周りに沢山の花を育てており、保育園児や家族連れも訪れている。

まとめ

議会報告会で三郷畜産団地の悪臭対策についての意見があり、今回2か所の牧場を視察した。2か所とも、きれいに清掃が行き届きゆったりと風通しのよい牛舎で、健康な牛を育てている。堆肥の処理方法、排水対策、環境美化に力を入れて、地域の保育園児や小学生が訪れて地域と交流をしている。安曇野市でも市民、地域、経営者、行政が連携をし、地域に根ざし愛される牧場経営をすることが必要と感じた。

総務環境委員会 視察報告

- 平成 28 年 11 月 1 日 視察先 北海道小樽市
 目的 公募制度と自治基本条例について
- 11 月 2 日 視察先 北海道江別市
 目的 江別防災ステーションの機能について
 視察先 北海道苫小牧市
 目的 苫小牧行政改革プランについて



江別防災ステーションの視察

クローズアップ

江別防災ステーションの役割

江別市の特徴

千歳川と石狩川の合流地点に位置する江別市では、昔から河川氾濫が続き、特に昭和56年8月の石狩川氾濫では甚大な被害に見舞われた。石狩川流域市町村は北海道開発局による治水事業を、長期にわたって取り組んできた。貯水場施設の新設や河川改修をはじめ、遊水池での水門整備等の展示施設として、両河川の合流地点に、江別防災ステーションが建設された。

まとめ

両河川で計8か所の遊水池等の整備をすすめており、それによって多くの浸水被害が解消され、平成28年夏に相次いで上陸した台風では、この地の被害はなかった。安曇野市においても、黒沢川を安曇野排水路へ繋げる予定だが、下流にあたる万水川の内水対策のためにも、上流部への調節池の設置が重要だと認識できた。災害対策は、地形や河川の特徴を的確にとらえ、浸水被害を防ぐため降水量に対する安全度を確かなものにしてはならない。江別防災ステーションは、地域防災教育の場としても活用されており、地域イベントの開催だけでなく、子ども達と触れ合う場ともなっていて、将来消防団へ入団してもらえるような取り組みもあった。



民心・無所属の会 小林 純子

太陽光発電施設の事業 認定疑惑の解明を急げ



問 穂高地域の立足地区にある太陽光発電施設の事業認定に関し、未だ疑惑が解明されないの、再度法の根拠について問う。

答 農業委員会としては、農地転用について計画ごとに法的基準に適合するか、許可権者である長野県の判断に従って事務処理を行う立場である。

問 住宅建築課では、廃止された条例(旧穂高町まちづくり条例)で承認された案件は、「完了検査を実施する根拠がない」と解釈して完了検査をしなかったが、この解釈に誤りがあった。

答 農地転用の完了について弁護士の見解は、「造成工事が終わり登記簿上も雑種地に地目変更されていれば事業完了と扱って問題ない」とのことだが、この登記申請の時期は事実と異なるのではないかと登記申請書は平成25年12月24日付けの提出で、そこに地目が田から雑種地になったのは平成23年5月10日である。旧条例で受け付けた

問 完了届には、工事の着手は平成25年7月10日とある。

答 農地転用の届出書でも着手日は同じく平成25年7月10日で、完了日は平成26年4月10日とある。ということは平成23年5月10日の登記簿上の地目変更は、事業者が平成25年度中に太陽光発電の設備認定を受けるために、虚偽の登記申請を行ったことにならないか。

問 手続きの日付について事後的に観察し、その結果だけで真偽の判断をするのは困難である。

答 【その他の質問事項】
○市長交際費を「市交際費」へ



サン・ファーム穂高 安曇野として稼働している当該施設のパンフレットより

市民の

The Voice



声

おこ 興れ！ふるさと文化

ふるさと

は、生きていく力となり、心の

拠りどころでもあるに違いありません。

そのふるさとが、今どうなのかと問い続けたい思いに駆られます。常念の里の変貌ぶりを誰が予測し得たでしょうか。子ども達は、野に味わうことの多くを失ってしまいました。炬を囲み談笑する家族の風景など、もう昔語りでしかありません。常念山麓は、さらに大きく変わろうとしています。それだけに、忘れ去られようとしているふるさとを再発見し、ふるさとへの思いを新たにしたいのです。

かつて、

公民館で実践されたことが思い出されます。

「常念子ども公民館」では、時に雪形を見上げ、時に山に分け入って清水湧く辺りで聴いた昔話。清流に棲む生き物体験とともに



松島 賢さん (堀金)

に、子どもの心に深々とふるさとを刻むことに。「ふるさと常念の里講座」では、臼井吉見をはじめとしたふるさとの先人達を取り上げ、地域の人達に中学生も交えての学習機会とし、世代を超えて誇りとするふるさとを共有することができたのです。「ふるさと常念の里まどいの集い」では、ふるさと談義に草笛や篠笛の音色に、どれほどふるさとへの思いを深くしましたことか。

知ること

で何かが始まる！ここにしかないと言うべきふるさと文化の継承と創造。その気運をどう醸成していきましょか。まさに「興れ！ふるさと文化」をと、市・市議会・地域住民とともに考えを寄せ合い、ふるさと安曇野の明日を拓いていきたいものです。

議会傍聴へ ようこそ！

平成 29 年安曇野市議会 3月定例会は2月17日(金)～3月17日(金)頃を予定。皆さんの傍聴をお待ちしています。
託児室をご用意してあります。お気軽にお問い合わせください。(要事前予約)
なお、議会ホームページでは本会議のライブ配信も実施します！ぜひご覧ください。
請願・陳情の締切は2月7日(火)です。それ以降の提出は次の定例会での審議になりますのでご注意ください。

編集後記



三郷・堀金境から常念をのぞむ

◆三九郎の火柱が天高く、子ども達の書き初めなどを勢いよく燃やした。昨年は、東京に52年ぶりの38豪雪を思い出させるような雪が訪れ、それとともにインフルエンザの流行があった。今年は、無病息災で皆様^{まゆだま}が安心して暮らせることを願い、焼き鱒玉を食べた。
一志信一郎

◆玄関の戸を開けると、どこからともなく甘くさわやかな香り。元旦に口ウバイの花を見るときは思いがけないこと。凍える冬景色のなかに黄色の丸いつぼみが、なんとも温かく可愛い。花を愛でつつ、しかし、これが地球温暖化の兆しかと思うと複雑な心境でした。
小林純子

議会広報特別委員会

委員長 竹内秀太郎 委員 坂内不二男 井出勝正 一志信一郎 藤原 正三
副委員長 林 孝彦 中村今朝子 平林 明 猪狩久美子 小林 純子

議会からのお知らせ

・公職選挙法に基づき議員の寄附行為の禁止を徹底します

地域行事、祭りなどへの寄附や差し入れ、開店祝いや葬儀の花輪、病気見舞い(親族以外)、中元、歳暮、入学・卒業祝い、代理出席の場合の結婚祝い・香典など、議員が寄附行為をすることは禁止です。

『寄附行為 贈らない! 求めない! 受け取らない!』

気軽にご意見をお聞かせください

〒399-8281 長野県安曇野市豊科6000番地
TEL 0263-71-2000 (市役所代表)
TEL 0263-71-2156 (議会事務局)
FAX 0263-71-2150 (議会事務局)

安曇野市議会だより 第45号

平成29年2月1日発行